

ハイエンドMCの性能を遺憾なく発揮するトランス、ST-70



—スウェーデン・Lundahl社製の特注トランスユニット採用。

—そのサウンドは、極めて繊細にして透明—

2018年に創業100周年を迎えたオルトフォンは、これを記念してダイヤモンド・カンチレバーを搭載した限定生産モデルと、それをベースとしたフラッグシップモデルのMC Anna Diamondの2機種を発表しました。その性能は、まさに別格。これまでも「高解像度」「ワイドレンジ」「クリア」と謳われたカートリッジは自社製品を含め多数存在していましたが、オルトフォン史上初の無垢単結晶ダイヤモンド・カンチレバーによる圧倒的なトランジェント特性(音の立ち上がり・立ち下がりが速い)からくる至高のサウンドは、これまでのMCカートリッジに対する概念を根本から覆すものでした。

これらのハイエンドMCの性能を遺憾なく発揮するべく、デンマークのオルトフォン本社は隣国スウェーデンが誇る高品質トランスメーカー「Lundahl」社に特注したオルトフォン専用のトランスユニットを搭載したMC昇圧トランスを開発。ST-90やST-7とはまた異なるサウンドの、極めて繊細かつクリアなトランス「ST-70」の登場です。

〈詳細は次ページへ〉

ST-70 ¥150,000(税別) 2019年11月発売

・「インピーダンス設定A」時

●昇圧比:24dB ●対応インピーダンス(推奨カートリッジ内部インピーダンス):5Ω~50Ω ●周波数特性(10Hz-100,000Hz):+/-1dB ●推奨負荷抵抗値:47kΩ
●推奨負荷容量値:200pF

・「インピーダンス設定B」時 ※オルトフォンのMCカートリッジ用、工場出荷時標準設定

●昇圧比:30dB ●対応インピーダンス(推奨カートリッジ内部インピーダンス):10Ω以下 ●周波数特性(10Hz-80,000Hz):+/-1dB ●推奨負荷抵抗値:47kΩ
●推奨負荷容量値:200pF

●本体寸法 W/H/D:150/58/135(mm) ●自重:1.233kg ●JAN:5705796310054

オルトフォンジャパン株式会社

〒113-0034 東京都文京区湯島2-2-6-6F TEL.03-3818-5243 <http://www.ortofon.jp>
Ortofon A/S Stavangervej9.4900 Nakskov,Denmark

I. デュアル・モノラル仕様の、左右チャンネル独立構成

ST-70の内部回路は、左右チャンネルを独立構成としたデュアル・モノラル仕様。反対側のチャンネル信号が混じるクロストークを防ぎ、クリアかつ定位感に優れ、より高レベルなステレオ感をもったサウンドを得るためにはこれが欠かせません。

II. 最短経路で結ばれた内部基盤とRCA端子

左右チャンネル分として2台使用されるLundahl社製MC昇圧トランスのユニットは工業用グレードの基盤に取り付けられ、最短経路でRCA端子との間を結んでいます。また信号回路の接点を極力減らすとともに、インピーダンス設定変更の際には基板上のジャンパーピンを差し換える仕様とすることで、接点の経年変化の影響を受けにくくしています。MCカートリッジがピックアップした音声信号は極めて微弱につき、接点の増加や経年変化は音質劣化や動作不良を引き起こす原因ともなります。このため、ST-70では徹底的な対策を施し、数十年単位の長期使用にも安定して動作するように設計されています。

III. μ -metalのシールドケースに納められたユニット、万全のノイズ対策

Lundahl社製のトランスユニットは、高いシールド性能を誇る μ -metalと呼ばれる合金素材のケースに納められています。このため、外部からのノイズの影響を受けにくく、S/N感の向上にも大きく寄与しています。そしてユニットが取り付けられた基盤はコンパクトでありながら重量級の鋼板シャーシに固定され、音の重心を安定させるとともに高い制震性能を発揮しています。



ST-70は、オルトフォンが100年をかけて生み出した新時代の高性能MCカートリッジにベストマッチしていることは言うまでもなく、癖のない、繊細でクリアなサウンドを目指した音づくりにより、様々なMCカートリッジに広く対応したMC昇圧トランスとなっています。アナログ再生において、昇圧トランスはシステムのサウンドを決める大事な要素の一つです。オルトフォンの目指すサウンドフィロソフィー「accuracy in sound」は昇圧トランスにおいても揺るぎなく、その音色に息付いています。